

## 愛媛大学医学部附属病院へご献体いただいたご家族の方へ

### 研究に対するご協力のお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、篤志により解剖実習のために献体いただいた方の組織を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方は、以下の問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	解剖献体を用いた脾臓曲部周囲膜構造解析
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の 提供を行う 研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 消化器腫瘍外科 (職名) 助教 (氏名) 大木悠輔
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2031 年 12 月 31 日
対象となる方	篤志により解剖のために献体いただいた方のうち 2018 年から 2027 年に解剖させていただいた方
利用する試料・ 情報等	解剖組織
研究の概要 (目的・方法)	消化管・腫瘍外科学講座で担当する大腸癌に対する外科治療は、腹腔鏡やロボット支援下手術が主になってきています。大腸癌手術の質をより高めるためには臓器同士の重なりを理解することが重要ですが、十分に形態が解明されているわけではありません。そのため、解剖献体を用いて構造を研究し、手術の質向上を図ることが今回の研究の目的です。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 消化器腫瘍外科 大木悠輔

愛媛大学医学部附属病院単施設用

情報公開文書 作成日：令和 7 年 11 月 20 日第 1 版

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5975